

Indonesia Weekly

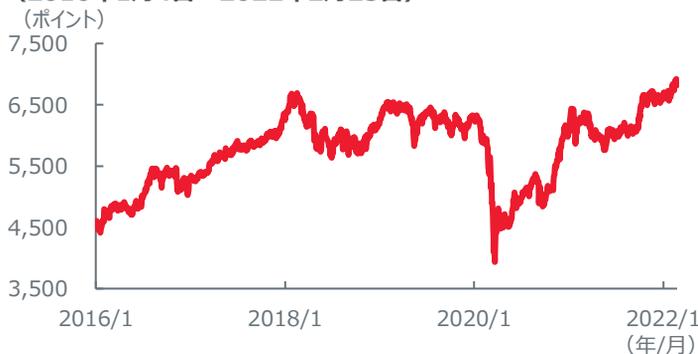
2022年2月28日



A Prudential plc (UK) company

(対象期間：2022/2/21～2022/2/25)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年2月25日)

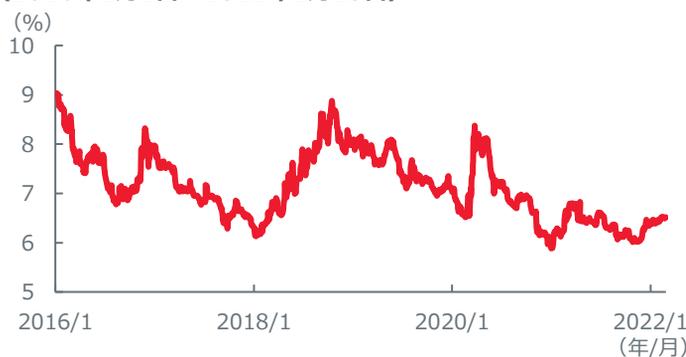


【株式市場】

週初は海外からの資金流入を背景に高値圏で推移しましたが、22日はウクライナ情勢の緊迫化で下落した海外市場の流れを受けました。23日は地政学リスクを背景としたコモディティ価格上昇を受けて、エネルギー株や好業績の銀行株を中心に幅広く買われ史上最高値を更新しました。しかし、24日はロシアがウクライナへ全面的な侵攻を開始したことからリスク回避姿勢が強まり大幅下落となりました。25日は海外市場の回復を背景に安心感が広がり、セメント株や不動産株などに買い戻しの動きがあり上昇しました。インドネシア株式市場は前週末比で下落しました。

2022/2/18	2022/2/25	変化率
6,892.82	6,888.17	-0.07%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年2月25日)

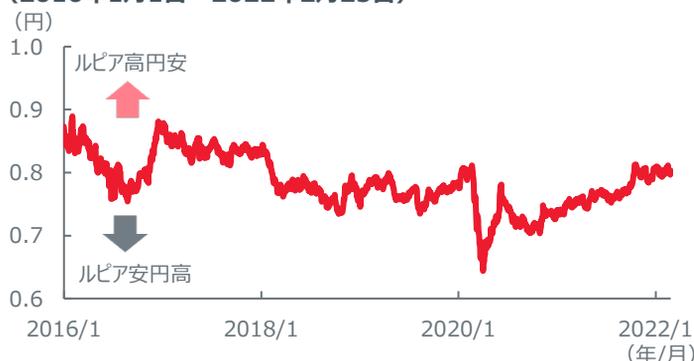


【債券市場】

週初は外国人投資家からの資金流出が続く中で利回りは小幅の上昇（価格は下落）となりました。政府が今年初めて発行した個人向け国債は、強い需要を背景に当初の発行予定額を上回る25.1兆ルピアとなりました。22日に行われたイスラム国債の入札は短期債を中心に強い需要が見られ、入札後の債券市場は横ばいでの推移となりました。24日はロシアのウクライナ侵攻の報道を受けてリスク回避姿勢が強まり利回りは上昇しました。25日は株式市場の回復などを背景に買い戻しの動きなどが見られ利回りはやや低下しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/2/18	2022/2/25	変化幅
6.497	6.515	+0.018

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年2月25日)



【為替市場】

週初、ルピアは狭い値幅での推移となりましたが、ロシアのウクライナ侵攻を受けて24日は下落しました。リスク回避姿勢が強まる中で、堅調なコモディティ価格を背景に株式市場が相対的に安定して推移したことなどをを受けてルピアの下落幅は限定的でした。週末にかけては買い戻しの動きが優勢となりました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに小幅の下落となりました。

2022/2/18	2022/2/25	変化率
0.8040	0.8034	-0.07%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。